

パラスポーツ専用体育館「日本財団パラアリーナ」の建設を発表 船の科学館敷地内にて2018年5月末竣工予定

この度、日本財団パラリンピックサポートセンター(以下、パラサポ)は、パラアスリートの練習環境整備を目的に、パラスポーツ専用体育館である「日本財団パラアリーナ」を建設いたします。東京臨海副都心地区にある「船の科学館」の敷地スペースを活用し、2018年5月末の竣工を予定しています。

パラスポーツ基盤強化において、パラスポーツ競技の実施可能な施設の少なさが課題とされています。2020年東京パラリンピックに向けて、その課題解決のために、パラサポでは2016年6月より日本財団ビル地下2階の一室(約70㎡)を貸出しています。これまで、パワーリフティング、車いすフェンシング、テコンドー、ボッチャをはじめとする少しのスペースでも実施可能な競技団体に活用いただけてきました。

一方で、特に体育館で行う車いす競技については、床を傷つける等の理由による利用拒否やバリアフリーの問題で、日常的な練習場所の確保が困難な状況にあります。また、パラスポーツに関する普及啓発イベントが実施できる体育館も不足しており、日常的な強化及び普及双方の課題を解決するために「日本財団パラアリーナ」を建設することとなりました。

パラサポは、2020年東京パラリンピック競技大会の正式競技の競技団体、及びその所属のクラブチームまたは個人を対象に、日常的な練習場所を確保するため、「日本財団パラアリーナ」の体育館施設や設備を貸し出します。また、2020年東京パラリンピックの競技団体やパラサポが認めるパラスポーツの普及啓発に関する団体を対象に、パラリンピック及びパラスポーツの普及啓発を目的とし、体育館施設や設備を貸し出すほか、エントランススペースに普及に資する常設展示コーナーを設置します。事前登録、予約を行った上で、無料で使用することが可能です。



■選手からのコメント

・島川 慎一(しまかわ しんいち)様(所属団体名:(一社)ウィルチェアーラグビー連盟)

「長年練習場所の確保に苦労していたので、パラスポーツ専用の練習環境が整って嬉しい。様々な競技のチームと切磋琢磨しながら2020年に向けて頑張っていきたい。」

・添田 智恵(そえだ ともえ)様(所属団体名:(一社)車いすバスケットボール連盟)

「多くの方にパラスポーツの魅力を体感してもらえる場所としても期待している。2020年の大会会場が満員になるように普及にも取り組んでいきたい。」

■施設概要

(1)名称:日本財団パラアリーナ

(2)所在地:船の科学館敷地内(〒135-0092 東京都品川区東八潮3-1)

(3)竣工時期:2018年5月末

(4)利用料金:無料

(5)実施事業及び対象者:

①強化環境整備事業

内容:日常的な練習場所確保のため、体育館施設・設備を貸し出す

対象:2020年東京パラリンピック正式競技の競技団体、及び競技団体所属のクラブチーム・個人

想定される競技:車いすバスケットボール、ウィルチェアーラグビー、ボッチャ、パワーリフティング、シッティングバレーボール、卓球、ゴールボール、トライアスロン、ローイング、射撃

②普及啓発事業

内容:パラリンピック及びパラスポーツの普及啓発のため、体育館施設・設備を貸し出す。

また、エントランススペースに普及に資する常設展示コーナーを設置する

対象:2020年東京パラリンピック正式競技の競技団体、当センターが認めるパラスポーツの普及啓発に関する団体

(6)利用方法:事前登録・予約を行った上で利用する ※詳細は未定

■主な仕様

(1)構造:鉄骨造 地上1階建

(2)面積:建築面積 3174.76 m² 延床面積 2981.34 m²

(3)種別:耐火建築物

(4)設備:

・メインフロア バスケットボール2面分、天井高 6850mm~8050mm

・トレーニングルーム 163.094 m²

・会議室 2室

・男女更衣室、シャワールーム、トイレ、医務室

・器具庫、倉庫、管理人室、駐車場